

環境関連ビジネスへの取り組み

～環境関連ビジネスにより、お取引先の環境に配慮した取り組みを支援しています

J-クレジットの活用支援

J-クレジットを活用したカーボン・オフセットの取り組み支援を積極的に行っています。

地方自治体との連携を強化し、環境保全の重要性やJ-クレジットを通じた環境負荷の低減手法をお取引先と共有することで、持続可能な社会の実現を目指します。

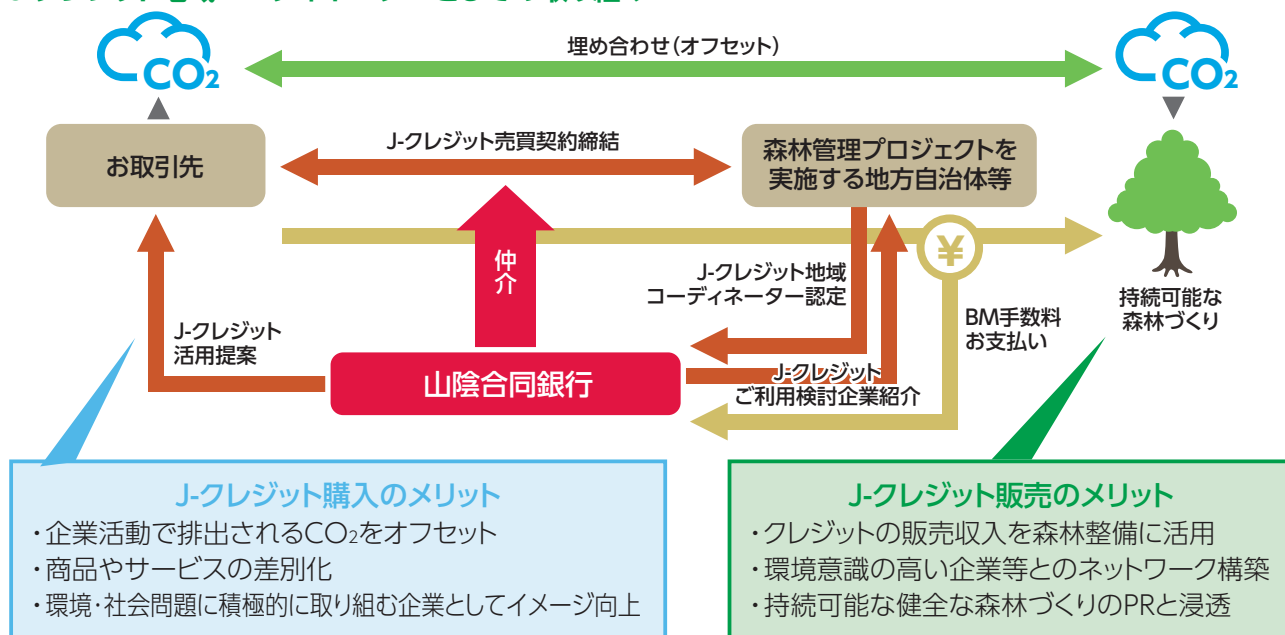
J-クレジット制度の普及・仲介および事業化支援

当行は、鳥取県独自の「J-クレジット地域コーディネーター制度」の創設に積極的に関与し、J-クレジット*の普及促進を支援しています。また、この制度を県外のJ-クレジット事業者にも普及させることにより、広域・面的な取り組みへと発展しています。

山陰両県および兵庫県養父市で認証済のJ-クレジットについて、ビジネスマッチング業務として積極的な活用支援を実施し、売買契約を仲介しています。

※J-クレジット：温室効果ガス(二酸化炭素等)の排出削減量および森林整備等によって増加した温室効果ガス吸収量をクレジットとして認証されたもの

J-クレジット地域コーディネーターとしての取り組み



J-クレジット販売支援実績 (2018年5月末現在)

	件数(件)	数量(t-CO ₂)
鳥取県内	31	1,065
うち鳥取県	10	560
うち日南町	17	393
うちその他	4	112
島根県内	1	30
兵庫県養父市	16	1,070
合計	48	2,165

取組事例

日南町有林J-クレジット販売支援推進 ～米子ブロック内連携の成果

2017年12月、政府の「SDGsアクションプラン」発表後、銀行界で呼応する動きが広がるなか、生山支店はいち早く米子ブロック内の各店舗と連携し、J-クレジット販売支援を推進してきました。この結果、多くの案件成約が出ています。

生山支店長コメント(支店長 三嶋 秀己)

鳥取県日南町の90%は森林です。森林を保全する取り組みを整え、林業を持続可能な産業として守っていかねばなりません。森林保全に直接貢献できるJ-クレジット活用支援は、米子ブロック内でうまく連携でき、行員の高い意識が続々と成約につながりました。J-クレジットの活用は当行とお取引先が同じ思いでSDGsに取り組む手法です。地域金融機関の行員として、J-クレジットの活用支援に大きな意義とやりがいを感じています。

再生可能エネルギー分野への取り組み

環境への負荷が少なく、枯渇の心配がない自然の力から創る再生可能エネルギー事業参入へのサポートに、本部専門担当者と営業店が一緒に取り組んでいます。

再生可能エネルギー事業への参入支援

本部内に専門の担当者を配置し、太陽光発電、風力発電、木質バイオマス発電などの発電事業への参入を支援しています。太陽光発電事業については、電気設備工事会社や太陽光発電パネルメーカーと連携し、事業の仕組みの説明から事業化の支援、建設費用の対応などを一貫して行っています。

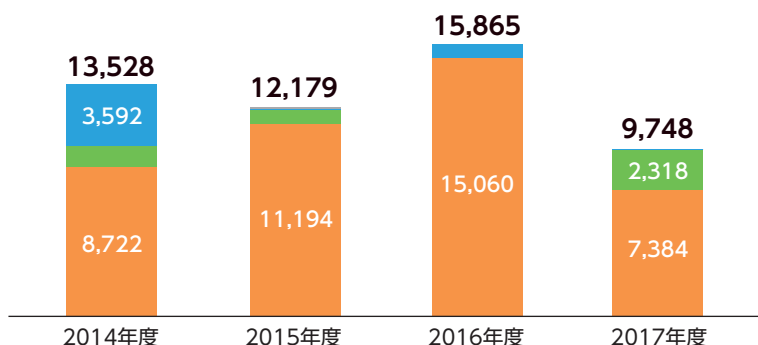
大規模な設備案件への対応

大規模な再生可能エネルギー案件に対して、プロジェクトファイナンス形式でのシンジケートローンの組成を行っています(太陽光発電、風力発電、木質バイオマス発電において実績あり)。

地域金融機関の代表として、難易度の高いプロジェクトファイナンスのアレンジャーを務めることで、お取引先に幅広い資金調達手段を提供しています。

再生可能エネルギー関連融資実行額の推移

■ 太陽光 ■ バイオマス ■ 風力 ■ その他
(百万円)



環境配慮型商品の提供と金利優遇の実施

環境配慮型商品の提供等を通じ、お客様の環境に配慮した取り組みを支援しています。

エコ型銀行保証付私募債

環境に配慮した取り組み(ISO14000取得等)を行っている企業を対象とし、本私募債の発行による資金調達に加え、企業イメージの向上を支援しています。

リフォームローン

太陽光発電・ソーラーシステム・蓄電池購入費用、および設置工事等に伴う費用に利用でき、金利優遇を行っています。

住宅ローン金利優遇

省エネ住宅や環境に配慮した住宅、島根・鳥取県産木材を利用した住宅の購入および新築の場合に金利優遇を行っています。

地域の環境保全への取り組み

～地域を次の世代につなげるため、地域環境や自然を守り育む活動に取り組んでいます

省エネ・省資源・リサイクル活動

省エネコンペの実施

2011年度に全営業店を対象とした「省エネコンペ」を2回実施しました。電気使用量の対前年比は、1回目の2011年7～9月の合計▲16.88%、2回目の2011年12月～2012年2月の合計▲5.99%と大幅に削減、行内での省エネ意識も醸成することができました。

その後も年2回、省エネ節電対策等を要請することにより、行内の省エネに対する意識を高めています。

省エネ・環境配慮型製品の導入

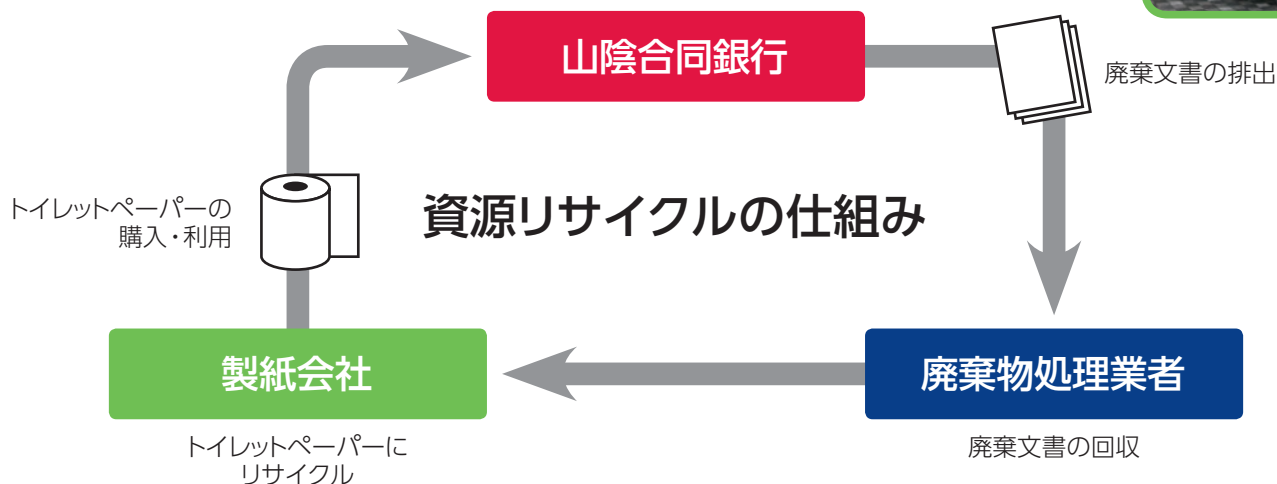
省エネ型エアコン、LED照明、太陽光発電システム、電気自動車などの省エネ・環境配慮型製品を順次導入しています。

ペーパーレス化・リサイクル

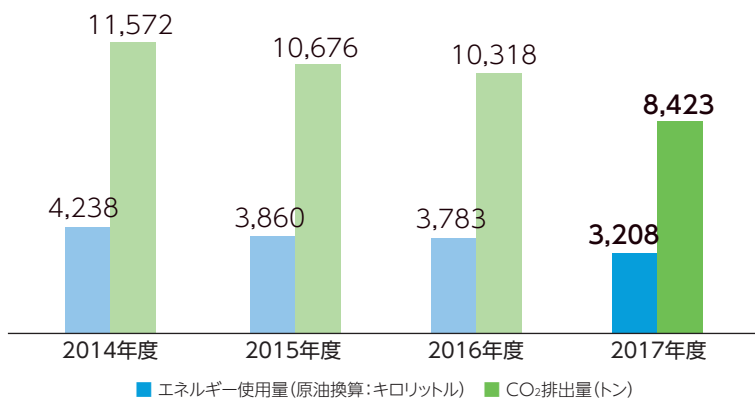
行内文書の電子化やコピー・印刷の削減等によりペーパーレス化を進めています。また、廃棄文書のトイレットペーパーへのリサイクル、ゴミの固形燃料原料へのリサイクル等を実施しています。

超小型電気自動車「COMS」の導入

2017年4月、環境にやさしく機動性に優れた超小型一人乗り電気自動車「COMS (コムス)」を鳥取市内の2店舗に2台導入しました。



エネルギー使用量・CO₂排出量の推移



※経済産業省報告ベース

森林保全活動

私たちは、「ふるさとの自然を守る」「1人ひとりが、できることをできる範囲で継続する」という理念のもと、これからも地域の皆様と一緒に、森林を守り育み、次代につなげていく活動を継続していきます。

ごうぎん希望の森

鳥取・島根両県の森づくり支援制度を活用し、役職員やその家族による実践的な森林保全活動を年2回実施しています。2016年10月、森林保全活動開始10周年を記念し、活動エリアをこれまでの4カ所から、6カ所に拡大しました。



森 を 守 ろ う
**GOGIN
GREEN
PROJECT**

森林を守ろう！ 山陰ネットワーク会議

山陰両県内で活動するボランティア団体やNPO法人等をメンバーとするネットワーク組織です。当行がその事務局を担い、情報交換や交流活動を通じて、活動の輪を広げる取り組みを行っています。(会員数:52団体)



日本の森を守る 地方銀行有志の会

全国の地方銀行64行が連携し、ふるさとの環境保全に貢献するため、森林保全等に関する情報交換やノウハウの共有化を図っています。当行は2008年の発足以来事務局を担い、各行の活動の取りまとめや相互交流を進めています。



日本の森を守る
地方銀行有志の会
SAVE THE FOREST IN JAPAN